



特集

ご存じですか？民生児童委員

これからも地域とともに

【飯田市民生児童委員協議会 会長会の皆さん】

民生児童委員は、地域の身近な相談相手です。こどもから高齢者まで、地域にお住まいの皆さんが安心して暮らせるよう、活動しています。

ご存じですか? 民生児童委員



民生児童委員は地域の身近な相談相手です

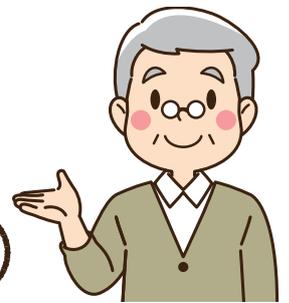


民生児童委員は、地域から推薦され、厚生労働大臣から委嘱される特別職の地方公務員（任期は3年間）です。現在、飯田市では20地区で235名が民生児童委員として活動しています。

地域の皆さんが安心して暮らせるよう、訪問活動などを通じて子どもから高齢者までの見守りを行っています。心配事や困り事の相談に応じ、必要なサービスが受けられるよう関係機関への『つなぎ役』としての役割を持っていますので、

安心してご相談ください。お住まいの地域を担当する民生児童委員をお知りになりたい方は福祉課または各地区の自治振興センターへお尋ねください。

●問い合わせ／福祉課 内線5712

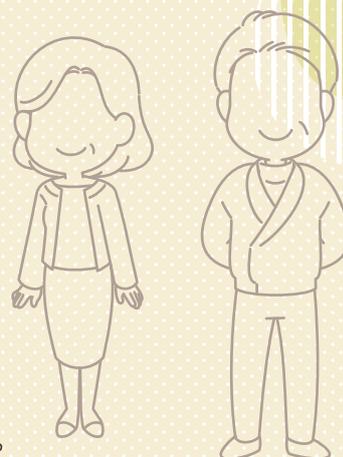


民生児童委員はこんな活動をしています



飯田市の民生児童委員

- 女性150名／男性85名
- 平均年齢：69.2歳
- 委員一人あたりの活動件数（平均件数／月）
相談・支援件数…1.4件／月
訪問回数…15.2回／月
- 今年は3年に一度の民生児童委員の一斉改選の年です。
令和7年12月1日付で民生児童委員の改選が行われます。



地域の皆さんの暮らしに寄り添っています

例えば…

- 1人暮らしの高齢者などの見守り
- こどもの登下校時の見守り
- 地域の居場所づくりへの協力
- ふれあいサロンなどの集まりへの協力
- 地域の行事への協力



訪問先の方の声

- 1人暮らしなので、来てくれるととても嬉しい。
誰かが気にかけてくれると思うだけで心強いです。
- いつも親身になって相談を聞いてくれるので
助かります。
- 体操教室やサロンを紹介してもらってから、
外出が増えて楽しく過ごせています。



こんにちは! 私たちが 民生児童委員 です。



胡桃澤 副会長

秦 会長

鎌倉 副会長

塩澤 副会長

飯田市民生児童委員協議会

秦 会長

飯田市でも高齢者だけでお住まいの世帯が増えてきて、一人暮らしの方も多くいらっしゃいます。孤独死や老々介護、ヤングケアラーやひきこもりなど、幅広い課題が注目される中、近年は詐欺被害のニュースも多く、自分自身も気を付けなければと感じています。

活動が思うようにできなかったコロナ禍を経て、顔を合わせてお話しをお聞きすること、顔の見える関係を築くことの重要性、民生児童委員の重要性を改めて実感しています。

7期21年のベテラン

鎌倉 副会長

南信濃地区は昔からの顔見知りの方が多く、活動しやすいです。一人暮らしの方も多く、訪問を楽しみに待ってくださると思うと自然とやる気が湧いてきます。訪問する私の方が元気をもらっています。

民生児童委員の皆さんに聞きました

フルタイムの仕事をしているので、両立できるか心配でしたが、仲間や地域の皆さんに支えられて頑張っています。

特別な経験はありませんでしたが、自分でも地域の役に立てるならとお引き受けしました。訪問先で元気をもらって、若返ったと言われます。

先輩委員に相談できます。

仲間がいるから続けたい。

不安がある場合には2人で訪問することもあります。

1年目には難しかった資料も、内容が分かるようになりました。





主任児童委員は 地域の子育てを応援しています

主任児童委員は、妊婦さんや子ども、そして子育て家庭を専門に担当している民生児童委員です。市では24名が活動しています。

地域で親子が元気に安心して暮らせるよう、公民館の乳幼児学級や保育園、認定こども園、小中学校と連携しながら見守ります。

● 問い合わせ／こども課 内線5349

「おめでとう赤ちゃん訪問」では、親子に初めて会う訪問なので緊張しますが、にこにこ笑顔の赤ちゃんとお育てを頑張っているママさん・パパさんにお会いし、幸せな時間をいただいています。乳幼児学級や小学校の参観日・こども寺子屋などでこどもさんの成長の姿を拝見したり、ママさん・パパさんやこどもさんから声をかけてもらい、この役目をさせてもらってよかったなあとうれしくなります。これからも地域の一員として、親子に身近な存在でいたいと思っています。



松村会長



赤ちゃんが生後4カ月になったころ、居住地区の主任児童委員（民生児童委員）がご家庭へ「おめでとう赤ちゃん訪問」に伺っています。

市長からのお祝いメッセージ、更生保護女性会からのプレゼント、市からの子育て応援のための燃やすごみ袋のほか、各種の子育て情報などをお渡ししています。

上郷児童クラブ開所



上郷地区で3カ所に分かれていた児童クラブを、上郷小学校の校舎内に統合しました。学校からクラブに移動する際の交通事故の危険がなくなり、また学校施設を活用して活動ができるようになりました。

「館報 やまなみ」 コンクールで銀賞



南信濃公民館の広報委員会が発行している「館報 やまなみ」が、「第10回全国公民館報コンクール」でユニークな企画と見ごたえのある紙面が審査員に高く評価され銀賞を受賞しました。

カンボジア・スタディツアー 広い視野を持って



3月20日から26日にかけて訪問

市公民館が主催する高校生講座「カンボジア・スタディツアー」に参加する15名が、事前学習を経てカンボジアを訪問しました。異国の地での体験が、自分たちの暮らしを見つめ直すきっかけとなりました。

飯田市立動物園 新しいバッテリーカー



クラウドファンディングによる支援で購入した新しいバッテリーカーを、3月29日にお披露目しました。デザインは、5種類の中から投票で選ばれた、ピンクのヒツジのデザインです。

市公式SNSでも市内の出来事やイベントなどを配信しています。
ぜひご覧ください。

QRを
スキャン



Instagram

南信濃和田 なかばし 待ち望んだ中橋開通



令和2年7月に豪雨で落下した中橋の復旧工事が完了し、4月6日に完成を祝うイベントが開催されました。遠山中学校の生徒が書いた橋名板の除幕式などがあり、重要な生活道路の開通を祝いました。

地域DX情報交流会



市内の情報関連事業者が集い、3月8日にムトスぷらざで自社の取り組みを紹介しました。こども達にもデジタル技術に興味を持ってもらおうと、eスポーツ、プログラミング、VRなどの体験会も行われました。

かざこし子どもの森公園 もりもり文化祭



3月22日・23日に、公園を利用する方や地域との交流を目的とした「もりもり文化祭」が行われました。理科実験ミュージアムの特別講座、フリーマーケット、ダンスの発表など、多くの人で賑わいました。

新たに3店舗を認定 域産域消の食育店



南信州地域で生産される農林水産物を積極的に使って食文化を発信し、健康に配慮した料理を提供する域産域消の食育店に「Cider Barn & more」「水神テラス」「龍峡亭」を認定しました。

現代版 養生訓

皮膚科
上條史尚 医師

アトピー性皮膚炎

アトピー性皮膚炎とは、良くなったり悪くなったりをくり返す、かゆみのある湿疹を主な症状とする皮膚の病気です。湿疹とは、皮膚の表層に起こる炎症の総称で、皮膚炎とも呼ばれます。

アトピー性皮膚炎の原因は最近の研究で、「皮膚バリア機能異常」と、免疫の異常によって起こる「アレルギー炎症」「かゆみ」の3つの要素が互に関連しながら発症することがわかってきました。そのため、治療も三位一体で考えていくことが重要となってきました。

アトピー性皮膚炎の治療の基本は症状に応じて「薬での治療」「スキンケア」「悪化させる原因の対策」の3つを組み合わせた治療です。

最終目標は、あまり薬を使用することなく日常生活を送れるようになることです。

一般的に、アトピー性皮膚炎の治療では、ステロイド外用薬で炎症を抑え、保湿外用剤で皮膚のバリア機

能の低下を防ぐという組み合わせが基本となり、補助療法として抗ヒスタミン薬（一般的なかゆみ止め内服薬）が使用されています。

ほとんどの方はこれでコントロールできるのですが、一部の中等症から重症の患者さんの中には、このような従来の薬では症状がなかなかコントロールできない方がいらっしゃいます。

そのような患者さんの新しい選択肢として、近年、注射薬などこれまでとは異なる作用機序をもつ新しいタイプの薬が続々と登場しています。ただし、使用できる基準があり、高額な薬剤でもあります。

今まで受けている治療で十分な効果が得られない、毎日かゆくてつらいという患者さんは、まずはかかりつけ医に相談してみましょう。

飯田市立病院 〒395-8502 飯田市八幡町438 ☎0265(21)1255

Vol.48

図書館に行こう！

市長室から

市長
佐藤
健

この原稿の締め切りが過ぎてしまって困っていたちょうど(?)そのとき、地方紙のこんな記事を目にしました。「首相、朝から国会図書館に1時間超滞在」「自民党中堅議員は『本当に本を読みたくて行ったのなら、驚くほどのんきだ』と苦々しく語った。」

百歩譲って、石破さんには首相としてあるいは総理総裁として寸暇を惜しんでやってほしいことが山ほどあると言いたかったのだとしても、本を読みたくて図書館に行く人を「のんき」呼ばわりするのはいかがなものかと思いました(国会議員の皆さんがすべてこんな認識の持ち主ではないと信じてますが)。

ちょうど新年度を迎えて、市役所の新規採用職員には『人を動かす』(D.カーネギー

著)を、新たに管理職になった職員には『道は開ける』(同)を薦めたばかり。人生の荒波を乗り越えていかなければならない人こそ、本を手にしてほしいものです。

図書館は、まだ文字が読めない小さなお子さんから人生経験豊富な大人の方まで、誰もがその知的好奇心を羽ばたかせ、さまざまな知識を得ることができる、実に豊かな空間です。

今年、飯田市立中央図書館は開館110周年を迎えます(市政施行前、飯田町立図書館が出来たときから数えて)。これまでご愛顧いただいている方はもちろん、これまで図書館が縁遠かった方にも、ぜひ足を運んでいただければ。司書の皆さんが、あなたをお待ちしております。